

ふれあい曾山医院

志筑1391-9
Tel:62-5566

2022年3月号
(第137号)

発行人
曾山 信彦



編集委員会



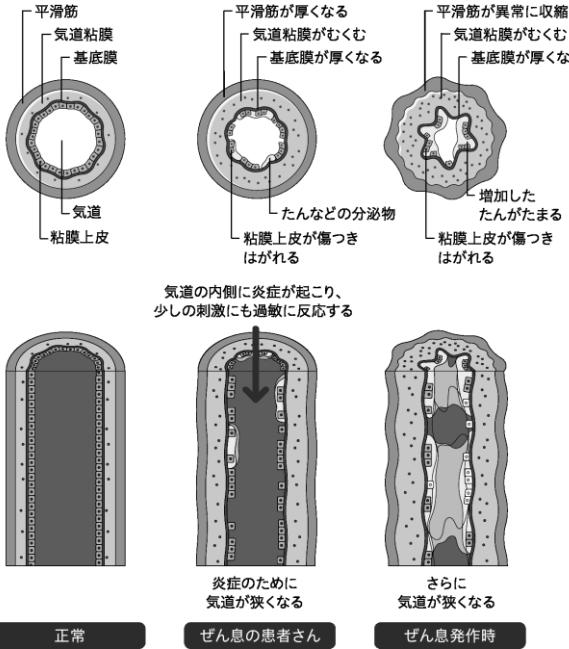
発熱外来はこちら
のQRコードから
ご参照ください。



アレルギー性喘息について

喘息は空気の通り道である気道がつねに炎症を起こしている慢性炎症性疾患です。小児から高齢者まで全ての年齢層で発症します。気道の炎症がアレルギー反応によっておこるものとアレルギー性喘息、それとは違う仕組みで起

こるものと非アレルギー性喘息といい、大人の喘息の60%、子供の喘息の約90%がアレルギー性喘息と言われています。症状や発現にはアレルギー反応が大きいかかわっており、咳や発作性呼吸困難が特徴的な症状です。



■アレルギー反応

アレルギー反応とは花粉やダニ、ハウスダストなど私たちにあまり害を与えない物質が侵入してきたにもかかわらず、それらを有害な物質と認識し本来私たちの体を守るために備わっている免疫の仕組みが過剰に反応してしまった現象です。

アレルギー性喘息はアレルゲンを吸い込んで数

発作の回数が増え、間隔が短くなると炎症によって傷つけられた気道はどんどん狭くなり発作が起つりやすくなります。

■悪化させる原因

喘息を悪化させる原因にはアレルギー反応を起こしやすい体质や気道の敏感性といった喘息の人

がもともと持っている要因と、吸入アレルゲンやタバコの煙、排気ガスなどの空気の汚染物質など様々です。

その他にも過労や不眠をはじめとするストレス、食品や食品添加物、アルコール、肥満、月経や妊娠などさまざまな環境要因が複数にからみあって引き起こされます。

■治療の目的

治療の目的は普通の人と変わらない生活が送れるようになることです。

家事をするなどは服用している人などは治療が十分でない可能性があります。

思い当たる方は一度治療を見直し主治医に相談してみて下さい。



治療をしていても症状がコントロールできていない人、入院したことがある人、救急外来に何度も通っている人、経口ステロイドを服用している人などは治療が十分でない可能性があります。

思ひ当たる方は一度治療を見直し主治医に相談してみて下さい。